

平成31年2月21日

江南市議会議長
牧野圭佑様

議会改革特別委員会
委員長 東 義 喜

平成30年度議会改革特別委員会報告書

本委員会は、平成27年5月15日の設置以降、議会の機能強化、運営の改善、市民と議会との意見交換会及び議会報告会の実施、その他議会の改革に必要な事案に関する調査研究を行ってまいりました。

このたび平成30年度の調査研究内容を取りまとめましたので、会議規則第110条の規定により、次のとおり報告します。

平成30年度
議会改革特別委員会報告書

平成31年2月
議会改革特別委員会

1. 経過

議会改革特別委員会において、委員長には東義喜委員、副委員長に野下達哉委員を選出し、以降、8回にわたり委員会を開催した。

2. 委員会等開催状況と協議内容

回	期 日	協 議 内 容
—	平成 30 年 5 月 14 日(月)	・ 正副委員長の互選について
36	平成 30 年 5 月 22 日(火)	・ 市民と議会との意見交換について (日時、場所、方針、周知方法について協議) ・ 昨年度からの申し送り事項について
37	平成 30 年 7 月 5 日(木)	・ 市民と議会との意見交換会について (役割分担、配布資料、チラシの内容について協議) ・ 昨年度からの申し送り事項について ・ 政務活動費の使用項目の拡大について
38	平成 30 年 8 月 8 日(水)	・ 市民と議会との意見交換会について (配布資料、当日の流れ、報告について協議) ・ 政務活動費について ・ 決算審査のあり方について
39	平成 30 年 9 月 26 日(水)	・ 市民と議会との意見交換会について (広報掲載内容の編集作業、アンケート結果確認、次回の開催について協議)
—	平成 30 年 10 月 3 日(水)	・ 行政視察の受け入れ 大阪府吹田市議会 調査事項：議会活性化・改革の取り組みについて
40	平成 30 年 10 月 25 日(木)	・ 市民と議会との意見交換会について (次回の開催、江南市議会基本条例実施要綱の見直しについて協議) ・ 政務活動費について ・ 決算審査のあり方について ・ 政策提言について
41	平成 30 年 11 月 22 日(木)	・ 決算審査のあり方について ・ 政策提言について
42	平成 30 年 12 月 20 日(木)	・ 市民アンケートについて ・ 市民と議会との意見交換会について (広報掲載内容の原稿提出について協議)

回	期 日	協 議 内 容
43	平成 31 年 2 月 7 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と議会との意見交換会について (広報掲載内容の編集作業、次年度の開催方針について) ・ 政策提言について ・ 予算・決算審査のあり方について ・ 報告書について

3. 活動概要

【1】市民と議会との意見交換会について

(1) 運営方法について

- ・ 開催場所、開催日時を各常任委員会で同一で行う。
平成 30 年 8 月 18 日 (土) 午前 10 時～正午 (開場 午前 9 時 45 分)
江南市民文化会館
- ・ 全体会と分科会の 2 部構成で行う。
〔全体会〕 午前 10 時～午前 10 時 15 分
第 1 会議室
〔分科会〕 午前 10 時 20 分～正午
厚生文教委員会・・・第 1 会議室 参加人数：14 人
総務委員会・・・・・・第 2 会議室 参加人数：15 人
建設産業委員会・・・美術工芸室 参加人数：38 人
- ・ 全体会の司会は副議長、挨拶は議長、当日の流れ等の説明は議会改革特別委員長が行い、終了後に分科会を行う。
- ・ 分科会の司会は副委員長、挨拶は委員長が行う。
- ・ 分科会ではテーマを決めて行い、テーマについての意見交換を行った後に、フリートーク形式での時間を設けた。
厚生文教委員会・・・介護予防について
子育て支援について
フリートーク
総務委員会・・・・・・公共施設再配置について
フリートーク
建設産業委員会・・・江南市のまちづくりについて
a.公共交通について
b.企業誘致について
c.布袋駅東のまちづくりについて
d.防犯・防災・交通安全について
フリートーク
- ・ ケーブルテレビの取材を受けることとし、撮影についての説明を全体会で行う。また、当日配布資料にも撮影についての説明を記載した。

- ・答弁は、簡潔明瞭に行う。
- ・発言時には町名と氏名を告げていただく。

(2) 啓発について

- ・会議開催予定の各種団体にはチラシを配布する。
- ・区・町内掲示板へのポスターを作成する。
- ・開催案内地区回覧チラシを作成する。
- ・近隣市議会、報道機関にチラシを送付する。
- ・尾北ホームニュースに依頼し、開催前に紙面へ掲載をする。
- ・チラシに過去の意見交換会で出された意見で市政に反映された項目を掲載する。

(3) 当日配布資料

- ・レジュメ（撮影のお願い、各常任委員会の資料）
- ・アンケート用紙
受け付けの際に配布し、終了後に回収する。
集計は各常任委員会が行う。

(4) 結果の公表

- ・昨年同様、開催後の報告やアンケートの結果は、広報こうなん及び市議会ホームページに掲載する。
- ・意見交換会での質問や回答等の当日のまとめ（広報こうなん掲載原稿）は、各常任委員会正副委員長に作成を依頼する。
- ・結果は広報こうなん 11月号に掲載する。

(5) 市民から出された意見に対する対応について

- ・市民から意見や要望があったものについて、定例会等で取り上げた。
- ・定例会等で取り上げた対応結果を各正副委員長で原稿を取りまとめの上、広報こうなん 4月号に掲載予定とする。

【2】協議事項と結果について

(1) 予算・決算審査のあり方について

可児市議会等を例に予算決算についての審査方法について協議した。

予算決算委員会を設置し、全議員で協議することはチェック機能を果たす役割として重要であり、すべての予算決算に携わることで議員の資質向上にもつながるとの意見と、全議員で予算決算を議論することは、発言者が限定的になったり、審議が広範に渡るため広く浅い議論になったりすることも考えられるので、現在の運営方法がよいといった意見が出され、協議の結果、引き続き議会として協議を続けていくべきとした。

(2) 政策提言について

市へ政策提言することについて、個々の意見だけではなく、議会の総意としてとりまとめた提言もしていく必要があるのではないかとのことから、政策提言の方法について協議した。また、協議に際し、尾北五市議会議長協議会に議題提出し、近隣各市の状況を確認した。

現在の各常任委員会の審査後に委員間討議の場を設け、出された提言を全議員で協議しとりまとめ、議会の提言として委員長報告に反映させれば、現在の運営方法でも政策提言はできるのではないかといった意見と、現在でも各会派で要望書が提出されており、市への提言は十分できているのではないかといった意見が出され、協議の結果、議員間で議論を深め、市に提言をしていくことへの必要性は共通の認識であることから、引き続き議会として協議を続けていくべきとした。

(3) 政務活動費について

政務活動費における、金額、支給対象（個人・会派）、支出範囲（電話代・ガソリン代）について協議した。

議員活動や研修参加等の充実を図るため、支出範囲の拡大や増額をしたいとの意見と、支出範囲を拡大した場合、明確な区分けが付けにくい項目の支出に対し、市民の理解が得られるのか慎重に考えるべきとの意見が出され、協議の結果、引き続き議会として協議を続けていくべきとした。

(4) 市民アンケートについて

市議会に対する市民アンケートの実施について協議した。

来年度改選期を迎える中、今年度中に市民アンケートを実施した場合、結果報告等を取りまとめ、その意見を議会として取り入れていくだけの時間がないことから、実施は見送りとした。

(5) 議会基本条例実施要綱の改正について

議会基本条例実施要綱第6条中の「年2回以上」の次に「（ただし、特別な事情がある場合は、その限りではない。）」を加える改正を行った。

(6) 次年度の意見交換会について

改選後の議会において、開催方法や日程を速やかに決定し開催するものとする。また、幅広い市民に参加していただけるよう、日曜日や夜間の開催についても検討するほか、自由参加型だけではなく、市内の各種団体等と直接意見を交わす訪問型の意見交換会も検討すべきだとの意見があった。

【3】視察の受け入れについて

・大阪府吹田市議会

平成30年10月3日（水）午後1時

議会運営委員会、議長、副議長 12名

「議会活性化・改革の取り組みについて」

議会改革特別委員会委員名簿

区 分	氏 名
委 員 長	東 義 喜
副 委 員 長	野 下 達 哉
委 員	伊 神 克 寿
委 員	安 部 政 徳
委 員	藤 岡 和 俊
委 員	幅 章 郎
委 員	中 野 裕 二
計	7人

オブザーバー

区 分	氏 名
議 長	牧 野 圭 佑
副 議 長	山 登 志 浩